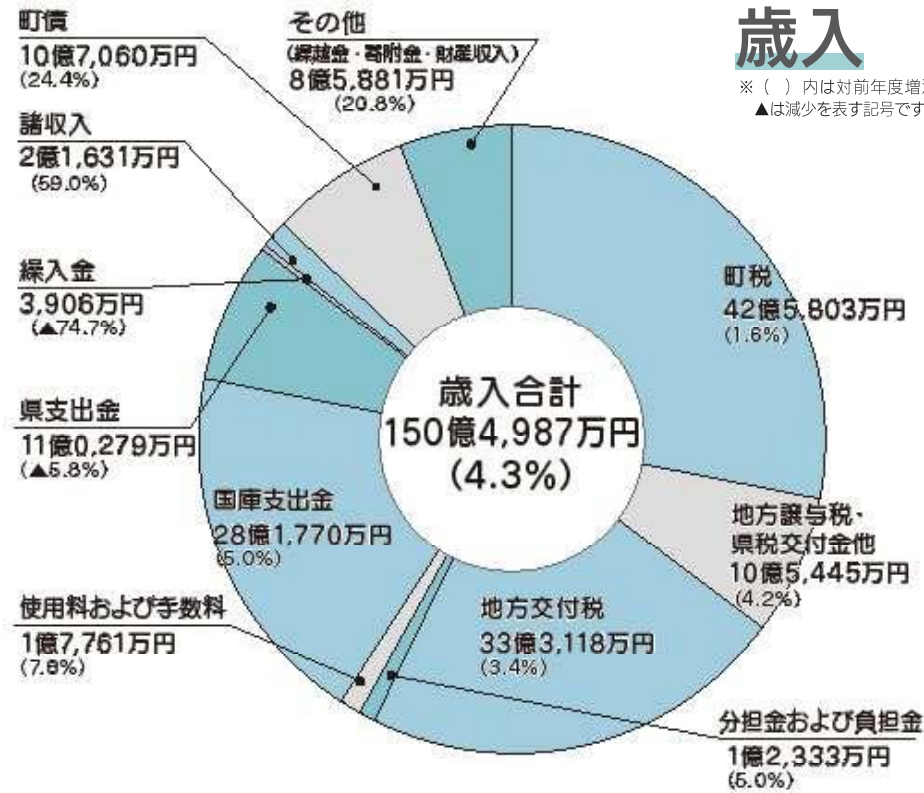


令和5年度 一般会計歳入歳出決算額

町では、限られた財源を活かし行政サービスを行っています。
皆さんに納めていただいている税金が、まちづくりにどのように活かされたのか、令和5年度の決算額の概要をご報告します。

歳入

※ () 内は対前年度増減率
▲は減少を表す記号です。



令和5年度の歳入は令和4年度と比べて約6億2,600万円（4.3%）増加しました。
主な要因としては、国の補正予算に伴う普通交付税の追加交付が9,268万円あったことや、山辺・県北西部広域環境衛生組合負担金（新清掃施設建設に係る負担金）に係る町債の借入が3億7,960万円と大きいことなどが挙げられます。

広陵町の貯金・借金

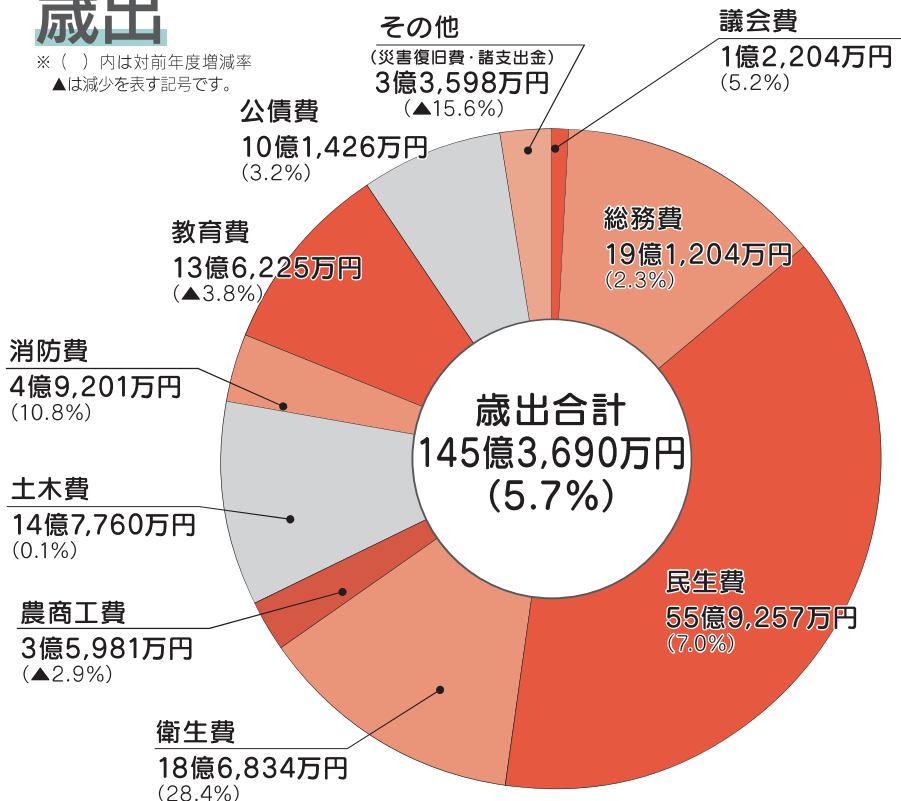
単位：百万円

基金残高	令和4年度末	令和5年度末	増加額
基金残高（貯金）	3,043	3,695	652
町債残高（借金）	10,935	11,023	88

令和5年度決算では、基金（貯金）残高、町債（借金）残高ともに増加しました。町債残高は抑制に努めているところですが、令和5年度においては、新清掃施設建設に係る町債の発行が大きいいため、残高は増加となっています。

歳出

※（ ）内は対前年度増減率
▲は減少を表す記号です。



令和5年度の歳出は令和4年度と比べて、約7億8,300万円（5.7%）増加しました。

主な要因としては、山辺・県北西部広域環境衛生組合負担金（新清掃施設建設に係る負担金）が前年度比4億2,820万円の増額となっていることや、畿央大学付属広陵こども園の開園などにより、私立保育園・幼稚園運営委託料が増額となっていることなどが挙げられます。

財政運営が健全かどうかを示す指標

指標	指標の意味	広陵町の結果		早期健全化基準(財政の立て直しを義務づけられる基準)	財政再生基準(財政破たんと判断される基準)
		令和4年度	令和5年度		
実質赤字比率（赤字になっていないか）	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	13.67%	20.00%
連結赤字比率（赤字になっていないか）	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし	18.67%	30.00%
実質公債費比率（借金の返済に苦しんでいないか）	広陵町の財政規模に対する借金返済額の割合	7.2%	6.5%	25.0%	35.00%
将来負担比率（負担を将来世代に回していないか）	広陵町の財政規模に対する負債の割合	24.8%	16.4%	350.0%	

いずれの指標も基準を下回っており、健全な状態であると言えます。

引き続き、健全な状態を保つよう歳入確保、歳出削減に取り組んでまいります。